



伊豆市の4つの地域を結ぶ “光のきずな”

～地域公共ネットワーク基盤整備事業～

目的と概要

伊豆市は静岡市、本川根町について県内で三番目に広い面積を誇ります。そのため同じ市内でも地域によってはどうしても物理的な距離が生じてしまいます。そこで、合併による市民サービス低下の不安感を解消し、広域での災害情報の提供や、灾害対策のスピーディップ、地域の一体感の醸成、広域での資源・人材の有効活用のため高速の情報ネットワークが必要となりました。

その背景として、近年の住民ニーズの高度化、成熟化や日常生活圏の拡大といつ

た住民のライフスタイルの変化、さらには少子高齢化、グローバル化などといった社会全体の変化があります。現在それら変化への対策が急がれています。

特に市内の小中学校16校においては、授業の中でパソコンを利用する環境が充分に整っておらず、都市部と比較して情報化が遅れています。そこで教育における情報通信格差の解消が急がれています。そして教育

分野のみならず、高齢者や働く女性の社会参画、子育てといった福祉サービスなどの分野でも、IT革命の恵みを、今回の合併を期に

4月1日の伊豆市誕生とともに、合併的主要事業の一つ「地域公共ネットワーク」がスタートしました。地域公共ネットワークは住民サービスの向上、地域の情報格差の解消、地域の一体感の醸成などを目的に総務省の補助事業で整備されました。市内の小中学校16校を含む市内65の公共施設を光ファイバーケーブルでつなぎました。

このネットワークは行政情報提供として、防災対策カメラを市内の公共施設11箇所に設置しインターネットでライブ配信を行っています。その他にも学校間交流・教育支援、住民間交流・子育て支援などインターネットによる情報受発信を行います。これらは公共施設などに設置された29台の住民向け開放端末(パソコン)や、皆さんの家庭のパソコンにより利用することができます。伊豆市を結ぶこの「光」のきずなが、私たちの生活を、どのように変えてくれるのでしょうか。

伊豆市内の各庁舎や小中学

の生活の利便性を向上するため、地域公共ネットワーク事業に着手しました。

皆さんで共有できるようになることが、ひとつ的重要な課題として掲げられています。国においても、市民や企業からの申請や届出等と、それに対する証明や許可をインターネット等で自宅や職場で出来るような認証システム等の研究を行っています。伊豆市でもこのような時代の変化をすばやくキャッチし、的確な対応が出来るよう準備を進めなければなりません。

これら課題を解決し皆さ

○地域公共ネットワーク端末・カメラ設置一覧○			
施設名	住民開放端末	IT学習用端末	災害対策用カメラ
伊豆市役所	1		1
修善寺郷土資料館	1		
修善寺総合会館	1		1
修善寺老人憩いの家	1		
修善寺中学校		14	
熊坂小学校		8	
修善寺小学校		7	
東小学校		7	
南小学校		14	1
生きいきプラザ	1		
修善寺中央公民館	1		
修善寺体育館	1		
修善寺図書館	1		
城山活動支援センター	1		
中伊豆支所	2		1
中伊豆中央公民館	1		
中伊豆中学校		10	
大見小学校		13	
八岳小学校		8	
大東小学校		7	1
中伊豆ふれあいプラザ	1		
中伊豆室内温泉プール	1		
中伊豆交流センター	1		
中伊豆歴史民族資料館	1		
国民宿舎中伊豆荘	1		
伊豆大見の郷季多楽	1		
天城湯ヶ島支所	1		1
狩野ドーム	1		
天城ドーム	1		
天城温泉会館	1		
湯の国会館	1		
天城中学校		8	1
狩野小学校		11	
月ヶ瀬小学校		7	
湯ヶ島小学校		7	
狩野幼稚園			1
天城保健福祉センター	1		
国民宿舎木太刀荘	1		
道の駅天城越え	1		
ひらつか山荘	1		
土肥支所	1		
土肥中学校		8	1
土肥小学校		7	
土肥南小学校		7	
土肥浄化センター			1
土肥ふじみ荘	1		1
計	29台	143台	11箇所

私たちの生活を豊かにする 地域公共N W 3つのシステム

①行政情報提供システム
市民にかかる生活情報、
福祉情報、イベント案内、
公共施設案内、広報観光情
報および地震や洪水に関する

「超高速情報通信網」を整備
し、さらなる住民サービス
の向上と情報通信格差のな
い快適な生活空間をつくる
ことを目指します。

防災情報は、各厅舎屋上などや狩野川、土肥の海岸付近に災害対策用カメラを設置し、河川危険水域、津波の状況、災害時における被災地状況などを住民開放端末やインターネットを通じて皆さんのパソコンに提供

する防災情報等の最新情報を、動画や写真を織り交ぜ行政情報として提供します。また、伊豆市本庁の議場に議会中継用カメラを設置し、議会開催中のライブ中継を行い、積極的な情報の公開と行政の透明性を図ります。

地域住民の一体感の醸成として、伊豆市の郷土の歴史・文化や伝統芸能、さらには各種イベントなどをデジタル化し配信（デジタルミュージアム：電子の博物館）することで、郷土を身

します。これらにより、皆さんが身近な場所で手軽に行政情報が取得でき、これまでにない住民サービスを受けることが可能となります。従いまして皆さんの合併による住民サービス低下といった不安を解消することができます。

災害発生時には、災害対策カメラによる画像提供により、2次災害や被害の拡大が防止され、住民の安全確保の一助となります。そして、その状況をとらえた動画・静止画を蓄積し、後に、災害対策・災害予防教育に活用することで、皆さ

近に感じ、郷土を大切にする心が育れます。また、そのような歴史や資源の提供により、地域一丸となった災害対策、防災意識の向上が図られるでしょう。

こうなつたらいいな 地域公共N W まちのひとの声

学校のパソコンは時々使うけど使いやすいよ！社会科の授業で伝統工芸品について調べたんだけど、検索サイトから調べたら調べべたんだけど、検索サイトから調べたら調べたいことがすぐに見つかったよ。僕は新聞係をやっているからポスターを作る時に役に立つんだ。

今は授業でしかパソコンを使えないから、もつと使う機会が増えるといいなあ。メールをやつたりしていろんな友達ができたら楽しんだね。パソコンは囲碁とかゲームもあって面白いけど、でもやっぱりみんなで外で遊びが一番楽しいよ！

学校のパソコンは時々使うけど使いやすいよ！社会科の授業で伝統工芸品について調べたんだけど、検索サイトから調べたら調べたいことがすぐに見つかったよ。僕は新聞係をやっているからポスターを作る時に役に立つんだ。

今は授業でしかパソコンを使えないから、もつと使う機会が増えるといいなあ。メールをやつたりしていろんな友達ができたら楽しんだね。パソコンは囲碁とかゲームもあって面白いけど、でもやっぱりみんなで外で遊びが一番楽しいよ！



(左) 小川恭平君、安藤優希君、古郡勇斗君（湯ヶ島小5年）

んにとつてより分かりやすい災害対策情報の提供が可能となります。

② 学校間交流・

教育支援システム

現在、教室に情報コンセントを配備し、各教室でインターネットを利用できる環境を構築しています。これにより、インターネットを活用した授業や動画教育を活用した授業や動画教育が可能となります。そして児童・生徒にとって、より理解の深まる授業が実現でき、都市部との情報通信格差が解消できます。

テレビ会議や電子掲示板などの機能を活用することで学校間交流が盛んとなり、パソコンやコンピュータに関する基礎知識の向上が図られるところであります。さらに教師と児童生徒は各学級のホームページを作成することによって、タイムリーな学級通信を配信することが可能になります。また、児童・生徒や保護者と教師が、お互いにメールによる情報

交換を行うことで、教育現場における新たなコミュニケーションを確立し、学校と保護者間の連携が密になることも可能です。

これから郷土を担う子どもたちに対し、郷土の歴史・文化や伝統芸能などの各種イベントを動画配信することで、郷土に親しみを持ち、さらに郷土を大切にする感性豊な人材育成にも役立つことでしょう。

③ 住民間交流・

子育て支援システム

住民同士の電子会議室などの新たな交流の場の活用により、ボランティア活動、各種サークルや生涯学習等の活動範囲が広がり、住民同士の交流が深まります。このサイトに登録した方は、自分の趣味や活動にあつた情報が得られ、学習意欲や活動意欲が高まり、充実した生活が営めるかと思います。

このサイトに登録した方は、自分の趣味や活動にあつた情報を得られ、学習意欲や活動意欲が高まり、充実した生活が営めるかと思います。

今後の取り組み

行政の高度化と事務能率・効率の向上を目指します

各行政分野における行政の高度化の推進

① 総合的な行政情報の

管理、処理

行政を取り巻く環境は、年々変化し複雑、多様化してきています。そのため今後は、こうした事務を総合的に管理、処理し、市民に対する円滑な行政サービスの提供を行うことができる

システム構築について検討を行っていきます。

② 広域的な情報通信

技術の利活用

市民サービス、利便性の向上を図るため、多くの人が情報通信技術の利用・活用ができるような環境を構築していきます。また、災

要な基礎知識、健康、レシピ、遊びなどの情報取得が可能となり、子育てに対する不安解消に役立つと考えられます。

害時の安定稼動、運用経費の節減等のため、電算システムの他市町村との共通化についても積極的に検討していきます。

情報の積極的提供と受信
もっと見やすくもつと使いやすいホームページを作成し、市民生活に必要な各種情報や資料について迅速に発信できるようにします。また、情報通信技術を活用した相談システムの構築や生活情報の提供についても積極的に導入します。こうした情報の積極的提供とともに、市民の皆さんの市政に対する意見・要望・質問等を今以上に反映させやすい環境をつくっていきたいと思います。

つた時に司書さんに使い方を聞いてこの端末を知りました。マウスがあると子どもがいたずらをしてしまうのでタッチパネルの操作で良かったと思います。



山田 由佳さん
(上白岩)

こうなつたらいいな 地域公共ネットワーク まちのひとの声

図書館に子どもと行つた時に司書さんに使い方を聞いてこの端末を知りました。マウスがあると子どもがいたずらをしてしまうのでタッチパネルの操作で良かったと思います。あとは普通のパソコンと同じで使いやすかったです。最初の画面に季節のイベントが載っていましたして、見たい情報を探すすぐに見つける事が出来ました。

このパソコンは地域公共ネットワークで繋がっていると聞いた事はありました。多く的人々が、知らない人もたくさんいると思います。もっと多くの人に知つてもらつて、活用してもらえるといいですね。

事務処理全般の見直し行政手続きなどの電子化についても考えています。電算化・情報通信技術を導入することにより、窓口業務を簡素化、効率化し一層のスピードアップをはかります。

このパソコンは地域公共ネットワークで繋がっていると聞いた事はありました。多くの人々が、知らない人もたくさんいると思います。もっと多くの人に知つてもらつて、活用してもらえるといいですね。